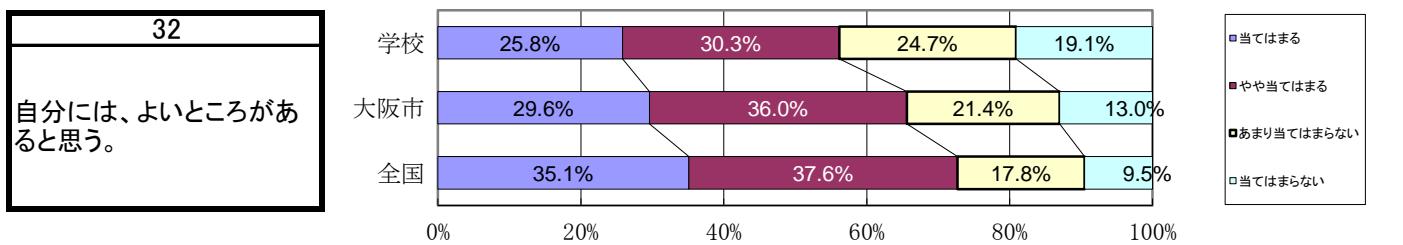
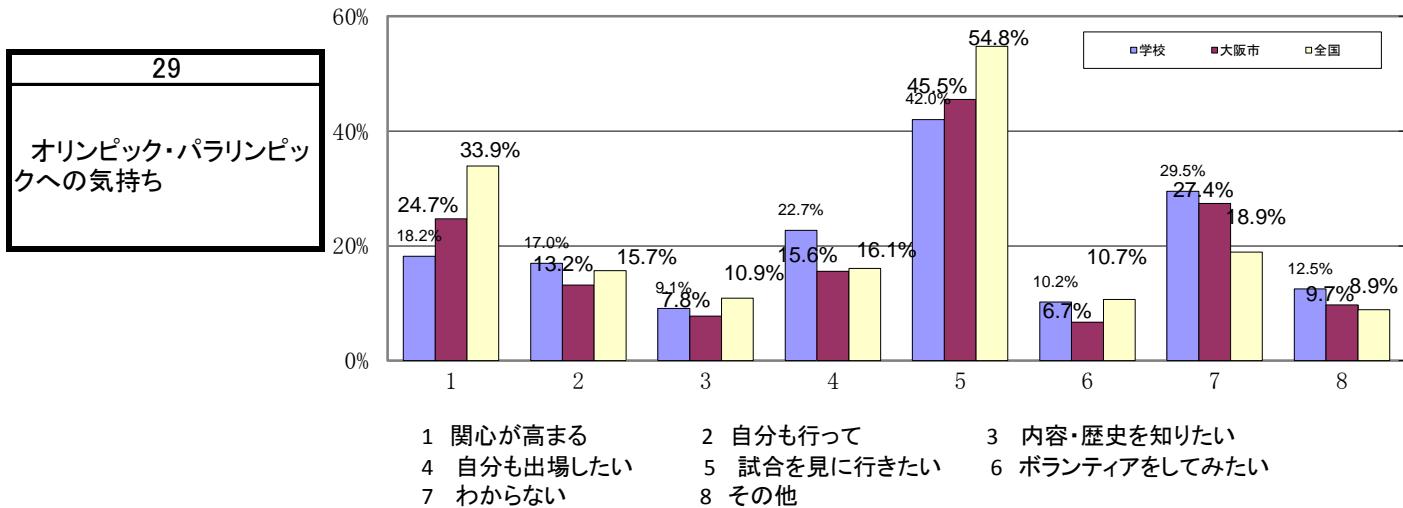


その他（男子）

| 質問番号 | 質問事項 |
|------|------|
|------|------|



成果と課題

2020年の東京オリンピック、パラリンピックに関する興味・関心は高く、特に男子は「自分も行って」と回答した割合が大阪市よりも3.8ポイント、全国よりも1.3ポイント、「自分も出場したい」と回答した割合が、大阪市よりも7.1ポイント、全国より6.6ポイントも上回っており、運動やスポーツに関して「行う」「出場」という関わり方を考えている生徒が多い傾向がみられる。また、大阪で好成績を残している運動部や、全国大会へ出場している運動部もあり、それぞれの部活動や個人が刺激し合うことで、めざすレベルが上がっていることも、「自分も出場したい」の回答につながっていると考えられる。

今後の取組

日常的に運動を習慣化させていくために、生徒へは入学直後の部活動紹介などの場面で、保護者へは保護者集会などの場面で、運動部活動への入部を勧め、運動部活動の所属率を高めていくようにする。また、2020年東京で行われる、オリンピック、パラリンピックに対して「行う」「見る」「支える」など何れかの面で関わり、自分の良さを発見させることができるように、スポーツの文化的意義や、オリンピック、パラリンピックが果たす文化的な役割、年齢・性別、人種・民族・国、障がいの有無をこえた人々を結びつけるスポーツの文化的はたらきを理解できるように、保健体育の授業を中心に取り組む。さらに、自尊感情を高めるための取組として、学校としてボランティア活動を推進する。